

## 飼い主のいない猫との共生支援事業

### —地域福祉の基盤を耕す—

○ 近畿大学九州短期大学 氏名 渡邊 暁 (008093)

地域猫活動 住民自治 共生

### 1. 研究目的

A市の野良猫に対する苦情件数は、平成21年度308件に対し、26年度は678件と倍以上にのぼる。多くの地域で猫に同情的な人と迷惑に思っている人との対立トラブルが後を絶たず、人間関係が悪化し地域内孤立も深刻化している。その解消法の一つが住民自治の原点とされるいわゆる「地域猫活動」である。本共生支援事業では、地域住民の手で、野良猫に不妊去勢手術を施し、適正飼育を行うことで、野良猫による住民トラブルの解消及び衛生環境保全を図っている。子猫が生まれなくなり、社会問題化している殺処分も減少する。排除ではなく、共生の考えと仕組み作りを学ぶことから、高齢者や障害者などが共に最後まで生活できる地域基盤を作ることを目指している。本研究では、ボランティア、住民、行政の三者協働により、合意形成を図り共生の仕組みを作ることによってトラブル解消を目指す「地域猫活動」の実際と、その取り組みを検証することを目的とする。

### 2. 研究の視点および方法

筆者が行っている共生支援事業の概要を紹介し、活動の検証を試みるアクションリサーチの方法をとる。

### 3. 倫理的配慮

本研究は日本社会福祉学会倫理要綱の規定を順守して行った。本稿に関連する地域猫連絡協議会や家庭動物啓発センター、A市動物行政等の各機関に対して事前に掲載と発表の承諾を得ている。また特定の地域情報が明らかにならないように配慮している。

### 4. 研究結果

本研究では、「ネコ」をキーワードに、立場を越えた新たな人間関係が築かれることを目指している。それには、まず様々な事情や考え方の違いを理解しようとする、次に事情や考え方の違いを前提に情報収集し問題点を明らかにすること、そして出来ることを積み上げていく。相手の認識を変えるということではなく、今ある問題を具体的にどうしたら解決に向かうかを考えるのである。その上で野良猫による被害の減少、人間関係対立の緩和、地域の包容力の向上を図るため、協働事業の実施体制を整えている。

- ①地域猫連絡協議会メンバー約 30 名（指定地域代表者）による相談・捕獲・適正管理、里親探しの協力
- ②家庭動物啓発センターによる 1 年間の無償手術及び助言や支援
- ③A 市動物行政担当者、家庭動物啓発センター所長、指定地域代表者、賛同者約 30 名参加による月例会で、情報交換や課題を話し合う。近年活動が活性化しつつある。

地域猫活動を開始した 2 年間で、対象町内及び周辺において 143 頭が手術を受け、今春生まれの仔猫はゼロである。猫によるトラブルは減少に向かい人間関係の対立も低減しつつある。

## 5. 考察

野良猫問題に関する多くの地域の現実はというと、地域の環境問題として立ち上がる人はごく少数な上に、活動者確保も困難なため、いさかだけがあちこちで勃発するか我慢するかで、イライラだけがつのるという地域環境と思われる。

多くの人が薄々感じているように、野良猫に餌を与える人がいなければ解消するかというと、問題はそう単純ではない。第一、野良猫が引っ越すだけで移動先に同じような困った問題が起きることを考えると、問題を先送りしただけである。第二に、野良猫で解決できなければ、別の迷惑問題が起きて、同じようないさかいの繰り返しで今度は人が引っ越すしか解決法がないという環境の地域になってしまうおそれがあること。猫が不幸な地域は人も不幸な地域と言わざるを得ないゆえんである。

そこで、行政が支援する地域猫活動が、猫の問題というより人の問題として意味を持つ。行政が不妊去勢を助成することで問題の発生源である「繁殖」を抑え込み、猫トイレと給餌と周辺清掃による適正管理というルールの下、共生のしくみがうまれ徐々に対立解消に向かうというのが、住民自治により住みよい環境をつくる地域猫活動なのである。この活動は地域の間人関係の融和・優しさのある成熟した地域への入口になり得ると思われる。

一方で、現代社会が抱える様々な影（無縁社会・不寛容）が壁ともなり、活動認知に至るにはまだまだ時間がかかると言わざるを得ない。また、効果がすぐに表れるというわけではなく、未来志向型活動と言える。地域猫活動の指定地域全体から多くの活動事例を集め、検証し、知見を積み上げる作業も必要である。

地域猫活動が話題になるにつれ、福祉分野を始め教育、環境、法律、都市計画、心理学など幅広い分野で応用できる内容であることが明確になってきた。様々な学術分野でその考え方や行動が利用されているようである。野良猫の苦情処理方法の一手段であった地域猫だが、結果的に猫を通して人と人を繋ぎ、地域福祉の基盤づくりに貢献している。